

押小だより

て ん し ん ら ん ま ん

天真爛漫



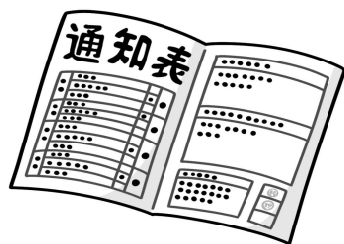
令和5年10月6日
さくら市立押上小学校
令和5年度 第9号
文責：仁平 博幸

1学期を振り返り、2学期に向けて準備

今日、令和5年度の1学期終業式を無事に迎えることができました。これで、今年度も半分が終了することになります。これまで、大きな事件や事故等なく今日を迎えることができたのも、保護者や地域のみなさんのご協力の賜と思っています。感謝申し上げます。

本日は、1学期の通知表「あゆみ」を担当からお子さんにお渡ししました。このあゆみには、お子さんの1学期の学習や生活の様子の記録とともに、その子がかんばったことや成長したことが記されています。一人一人みんなちがいます。私も全員のあゆみを読む中で、「確かに、この子はこれがかんばっていたな。」と分かることもあるのですが、「ああ、この子はこんなことをかんばったんだな。」「そうか、この子はこういうところが成長したんだ。」と、私には分からないその子の努力や成長の様子もたくさん記載されていました。さすがは、毎日子どもたちと接している担任や教科担当の先生方です。私は、子どもたちのほんの一部分しか分かっていないことを反省すると同時に、よく子どもたちを見て、その子のよさを認め、成長を支援している先生方に感謝しているところです。そして、いろいろとご協力いただき、お子さんの成長を支えていただいている保護者の皆様にも感謝申し上げます。

今日は、お子さんがあゆみを家に持ち帰りましたので、どうぞ、おうちの方も内容をよくご確認ください。お子さんのがんばりと成長を認め、「がんばったね（がんばっているね）」「成長したね」とお子さんに伝えていただければと思います（前回の学校便りの「3匹の鯛」にも通じるところがあると思います）。そして、2学期に向けて、子どもたちが伸ばしたいことやがんばりたいことなどを考え、めあてを立てその達成に向けて努力することが大切だと思いますので、ぜひ、その後押しとサポートをお願いできればと思います。子どもたちが2学期も生き生きとたくましく自分の力を伸ばし、成長することを願っているところです。



1年生にとっては初めての「あゆみ」ですね。教室で1年生の様子を見ていたら、ある子は楽しみに、ある子はドキドキした様子であゆみを見ていました。どうぞ、一緒に読んでいただき、1学期の成長を話し合ってください。よろしくお願いいたします。（仁平博幸）

※1学期のあゆみでは、学習の記録（成績）と、「明日に向かって」（文章で、お子さんのがんばりや成長について記載したもの）のみお伝えします。2学期は、それらに加えて、「道徳」（1～6年生）、「総合的な学習の時間」（3～6年生）、「外国語活動」（3・4年生）についてお伝えします。

運動会（10/21）に向けて…大切にしたいこと

いよいよ今月、10月21日（土）、本校の運動会が開催されます。先日のPTA理事会でも、保護者の方々へのお願い等についてご協議いただき、保護者の皆様に先日、開催案内をお出ししたところです。来賓もお呼びしてのアフターコロナの運動会となります。手洗い等の基本的な感染症予防を心がけながら、子どもたちの演技や競技をご覧いただけるよう準備を進めているところです。保護者や地域の皆様にもいろいろとお願いやご不便をおかけすることもあろうかと思えます。また、ご協力いただくことも多々あろうかと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、運動会に向けて、練習も本格的にスタートし、子どもたちが一生懸命にがんばっている様子が見られます。実は、9月末の朝会で、子どもたちに次のようなこととお話ししました。



運動会のスローガンは、みなさんが決めた「109人 全員主役 勝利目指して 全力疾走」です。

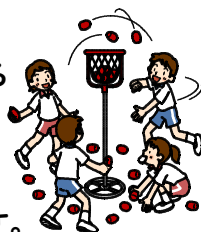
校長先生はとてもすてきなスローガンだと思っています。

特に、「109人 全員主役」「全力疾走」 → 一人一人が主役で、全力をだす

→ 自分も・仲間も・見ている人も感動する → みんなが幸せを感じる運動会になるからです。

ぜひ、「やりぬいた」「全力を出し切った」と思える運動会にしてほしいと願っています。

そのためにも、ぜひ、「どんな運動会にしたいか」「自分はどんなことをがんばるか」など、運動会に向けての目標・めあてを立てて、その達成に向けてがんばってほしいと思っています。



(オモテから)運動会のスローガンは、ある6年生児童が考えたものが、児童会を通して選ばれ決まりました。このスローガン、私もとてもよいなと思っています。朝会でのお話のとおり、「全員が主役であること」そして「全力」でがんばろうというところが、私の思い描く運動会だからです。

どんな姿でも、どんな結果でも、一生懸命に全力で何かをする姿は人に感動を与えます。自分も達成感を得られます。そして、その姿は仲間の力をさらに強くさせます。(ラグビーワールドカップを見ているような気分かもしれません…)

また、「全力」の場面は競技だけではありません。応援も全力のできる場面です。集まるときや席に戻るときも全力を出す場面です。係がある学年の子どもたちはその係の仕事も全力で行うことができます。いろいろな場面で全力を出すところがあるのです。

そんな「全力の運動会」は、自分も、みんなも、見ている人も感動し、達成感とともに「幸せ」を感じるものになると思っています。そして、全力を出している一人一人全員がまさに「主役」であり「主人公」になるのだと思います。

これは、私の思い描く学校の姿である「一人一人が主人公の学校」「みんなが幸せを感じる学校」そのものです。ぜひ、そのことを大切にして、練習、そして当日・本番、全員が全力で取り組み、「やりぬいた」「やってよかった」という運動会になることを願っています。

◎9月の学校の様子をご紹介します。

9月1日(金)

○防災の日「過去に学ぶ」

9年前に学校区内で発生した突風(ダウンバースト)について、子どもたちと学びました。



9月13日(水)

○表彰朝会(松の実賞)

今年度3回目の「松の実賞」の表彰で、16名の児童が受賞しました。おめでとう。



9月15日(金)

○道徳研究授業

大学の先生をお招きして、4年生教室で道徳の授業を行っていただきました。



9月9日(土)

○第2回PTA環境活動

保護者のみなさまご協力いただきありがとうございました。校庭の除草の他、トイレ清掃も行っていただき感謝申し上げます。また、校庭の側溝清掃では、重いふたを開けて泥を払いをしていただきました。屈強なお父さん方にも感謝申し上げます。ありがとうございました。



「押小のお宝」認定第4号《ビオトープ》

今回の「押小のお宝」は、校庭北側の「ビオトープ」です。

「ビオトープ」とは、ドイツ語の BIO(ビオ:生きもの)と TOP(トープ:場所)の合成語で、「生きものの暮らす場所」という意味です。本校のビオトープは、西側の丘(「トトロの丘」と呼んでいます)から流れ出た水が川や池となって流れています。ここには、鯉や小魚、カエル、子どもたちの好きなザリガニも住んでいて、季節ごとに、蝶やトンボなどが飛び、ショウブなどの花が咲くきれいな場所です。今は、安全上、休みに子どもたちだけで遊ぶ姿は見られませんが、かつては、休みに子どもたちでにぎわい、池に入って虫やザリガニを捕まえて遊んでいました。中には、池の中でしりもちをついて保健室で着替えをする子も。もちろん、私も靴下を脱いで子どもたちに負けじと一緒によく遊びました。え?しりもち?それは…秘密です。



押上小がこんな学校に…

「一人一人が主人公の学校」

「みんなが幸せを感じる学校」

「『また明日ね』と笑顔で帰れる学校」

※学校ホームページも、少しずつ記事を更新しています。よろしければアクセスください。

押上小学校

で検索。

